

くすりのしおり

注射剤

2024年11月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：マキユエイド眼注用 40mg [硝子体手術時の硝子体可視化]

主成分：トリアムシノロンアセトニド (Triamcinolone acetonide)

剤形：注射剤

シート記載など：



この薬の作用と効果について

透明な硝子体に付着し、硝子体を見やすくするために用いられます。

通常、硝子体手術時の硝子体可視化に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、眼球内（硝子体内）に注入します。

生活上の注意

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- ・眼内炎が発現するおそれがあるので、目の痛み、目の重苦しさ、目の異物感などの異常を感じた際には医師や薬剤師に相談してください。
- ・眼圧が上昇するおそれがあるので、眼圧の定期的な測定が必要です。
- ・白内障が発現するおそれがあるので、まぶしい、かすんで見える、視力の低下などの異常を感じた際には医師や薬剤師に相談してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眼圧上昇、術中低血圧などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・目の痛み、目の重苦しさ、目の異物感 [眼内炎]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

注射剤

2024年11月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：マキユエイド眼注用 40mg [糖尿病黄斑浮腫の軽減]

主成分：トリアムシロロンアセトニド (Triamcinolone acetonide)

剤形：注射剤

シート記載など：



この薬の作用と効果について

糖尿病に合併する眼の中の炎症を抑え、網膜の腫れを鎮め、視力を改善するために用いられます。通常、糖尿病黄斑浮腫の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。眼または眼の周囲に感染がある、あるいは感染の疑いがある。眼圧を下げる薬が効きにくい。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、眼球内（硝子体内）もしくは眼の奥（テノン嚢下）に注射します。再注射する場合は、3ヶ月以上の間隔をあけます。
- ・注射部位の感染を予防するため、この薬の使用前から使用後3日まで、医師の指示に従って抗菌剤の目薬を点眼してください。

生活上の注意

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- ・眼球内（硝子体内）注射の場合：物がかすんで見えたり、眼の前に黒い点や小さなごみ、時には輪のようなものが動いて見えたりする（飛蚊症）ことがあるので、その症状が回復するまで、機械類の操作や自動車などの運転はしないでください。
- ・眼球内（硝子体内）および眼の奥（テノン嚢下）注射の場合：白内障が発症あるいは悪化することがあるので、特に白内障手術の既往のない眼では、定期的な観察が必要です。
- ・眼球内（硝子体内）および眼の奥（テノン嚢下）注射の場合：眼圧が上昇することがあるので、眼圧の定期的な測定が必要です。
- ・眼球内（硝子体内）および眼の奥（テノン嚢下）注射の場合：糖尿病が悪化することがあるので、定期的な血糖値の測定が必要です。
- ・眼の奥（テノン嚢下）注射の場合：感染性強膜炎が発症することがあるので、眼の痛み、眼の充血、涙がでるなどの異常を感じた際には医師や薬剤師に相談してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眼球内（硝子体内）注射の場合、眼圧上昇、白内障、飛蚊症、視力低下、硝子体内薬物拡散（霧視、飛蚊症）などが報告されています。眼の奥（テノン嚢下）注射の場合、眼圧上昇、血中コルチゾール減少（食欲不振・低下、全身倦怠感）、白内障、結膜充血などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・まぶしい、かすんで見える、視力の低下 [白内障]
- ・頭痛 [眼圧上昇]
- ・眼の痛み、眼の重苦しさ、眼の異物感 [眼内炎]
- ・かすんで見える、視力の低下、視野が欠けて狭くなる、眼の痛み、頭痛 [緑内障]
- ・眼の痛み、眼の充血、涙がでる [感染性強膜炎]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

注射剤

2024年11月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力がが必要です。

製品名:マキユエイド眼注用 40mg [網膜静脈閉塞症および非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫の軽減]

主成分:トリアムシノロンアセトニド (Triamcinolone acetonide)

剤形:注射剤

シート記載など:



この薬の作用と効果について

網膜静脈閉塞症に伴う眼の中の炎症や、非感染性ぶどう膜炎に合併する眼の中の炎症を抑え、網膜の腫れを鎮め、視力を改善するために用いられます。

通常、網膜静脈閉塞症、非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。眼圧を下げる薬が効きにくい。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、眼の奥（テノン嚢下）に注射します。再注射する場合は、3ヶ月以上の間隔をあけます。
- ・注射部位の感染を予防するため、この薬の使用前から使用後3日まで、医師の指示に従って抗菌剤の目薬を点眼してください。

生活上の注意

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- ・白内障が発症あるいは悪化することがあるので、特に白内障手術の既往のない眼では、定期的な観察が必要です。
- ・眼圧が上昇することがあるので、眼圧の定期的な測定が必要です。
- ・糖尿病が悪化することがあるので、定期的な血糖値の測定が必要です。
- ・感染性強膜炎が発症することがあるので、眼の痛み、眼の充血、涙がでるなどの異常を感じた際には医師や薬剤師に相談してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眼圧上昇、血中コルチゾール減少（食欲不振・低下、全身倦怠感）、白内障、結膜充血などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・まぶしい、かすんで見える、視力の低下 [白内障]
- ・眼痛 [眼圧上昇]
- ・かすんで見える、視力の低下、視野が欠けて狭くなる、眼の痛み、頭痛 [緑内障]
- ・眼の痛み、眼の充血、涙がでる [感染性強膜炎]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。